

平成27年度日本火災学会研究発表会プログラム / Program of JAFSE Annual Symposium 2015

1日目 5月16日(土曜日) 午前の部 (9時15分 ~ 12時40分)		
A会場 4号館 1階 113教室	B会場 4号館 1階 116教室	C会場 4号館 1階 117教室
開会式 挨拶(火災学会長) 9:00~9:10 会場:中示範A教室(4号館 1階)		
A I リスク・火災統計 9:15~10:45 司会 西野智研, 田村祐介	B I 広域火災 I 9:15~10:30 司会 岩見達也, 廣田光智	C I コンクリート構造 I 9:15~10:15 司会 平島岳夫, 尾崎文宣
A-01 地震被害と生活継続リスクに関するマンション居住者の意識(その2) -居住階によるリスク認識の違い-	B-01 関東大震災被害における延焼動態と地形の分析	C-01 コンクリートの強度による爆裂性状と比透気率との関係
村田 明子	福島 彩香	李 在永
A-02 揺れによる消火・防火設備被害を考慮した中高層建築物の地震火災リスク評価	B-02 関東大震災記録映像の整理と火災研究への有用性 その2	C-02 繊維混入が高強度コンクリートの加熱後の細孔構造・透気性に及ぼす影響に関する実験
樋本 圭佑	西田 幸夫	寺田 啓介
A-03 リスク概念に基づくアトリウムの避難安全検証の設計火源	B-03 震災時の消防水利と消防活動に関する研究(その1) -震災時に使用可能な消防水利の現状と課題-	C-03 火災被害を受けたコンクリート構造物の維持管理のための標準化方案
張 艾	関澤 愛	Young-Jin Kwon
A-04 火災統計に基づく小火の特性に関する研究	B-04 震災時の消防水利と消防活動に関する研究(その2) -消火栓を使用可能とした場合の延焼抑制効果-	C-04 協力空中超音波法によるコンクリートの火害診断 -受熱からの経過時間について-
北堀 純	佐々木 克憲	興津 和弥
A-05 一般住宅火災における消火器の被害低減効果	B-05 アラスカにおける激しい火災の気象条件の分析	C II 鋼構造・アルミニウム合金 10:20~11:20 司会 森田武, 大和征良
加藤 穂高	早坂 洋史	
A-06 インターネット報道を用いた東アジアの火災情報の分析	B II 消火 II 10:35~11:35 司会 鶴田俊, 内藤浩由	C-05 火災時における高力ボルト摩擦接合継手の最大引張耐力
破石 英照		安藤 秀平
OS1-1 高齢者の避難安全 10:50~12:30 司会 佐野友紀, 北堀純	B-06 六ヶ所再処理施設の火災安全に対する取り組み	C-06 高温時における高力ボルト摩擦接合継手の数値解析モデル
	木村 乃久	Robert Dwiputra
OS1-1 高齢者社会福祉施設に対する防火啓発活動 その13 建物設計者等へのヒアリング調査結果の概要	B-07 窒素富化空気をを用いた移動式消防装置の開発	C-07 鋼材の高温強度のばらつきが鋼分解架構の崩壊モードと崩壊温度に及ぼす影響
栗岡 均	廖 赤虹	尾崎 文宣
OS1-2 高齢者福祉施設に対する防火啓発活動 その14 防火・避難安全情報の設計者とユーザーとの共有のあり方	B-08 窒素富化空気をを用いた消防装置の最適供給条件 (その1 実験による検討)	C-08 石膏充填型アルミニウム合金壁の火災時における断熱性 (その2 三角形要素を用いた伝熱解析による再検討)
大西 一嘉	佐々木 航一朗	渡邊 健太
OS1-3 認知症高齢者グループホームの職員に対する火災安全に関するアンケート調査	B-09 窒素富化空気をを用いた消防装置の最適供給条件 (その2 シミュレーションによる検討)	C III 部材の耐火性 11:25~12:40 司会 水上点晴, 李在永
柴田 充	山野 光一	
OS1-4 認知症高齢者グループホームの火災安全の観点における課題	B III 消火 II 11:40~12:40 司会 鳥飼宏之, 山野光一	C-09 多様な加熱温度における耐火被覆部材の温度上昇特性 その1 耐火被覆材の高温熱物性
江頭 大		種子田 翔一
OS1-5 高齢者施設入所者の避難能力の検討	B-10 火災通過を考慮した実散水密度に関する研究 -その1 ヘプタン火源を用いた実散水密度の測定実験-	C-10 多様な加熱温度における耐火被覆部材の温度上昇特性 その2 小規模加熱実験
宮坂 智哉	清水 達記	富山 涼
	B-11 火災通過を考慮した実散水密度に関する研究 -その2 文献調査および熱気流による水滴群の飛散に着目した考察-	C-11 多様な加熱温度における耐火被覆部材の温度上昇特性 その3 中規模加熱実験
	野秋 政希	王 俞翔
	B-12 インドネシア泥炭火災抑制のための環境配慮型泡消火剤の開発	C-12 カーテンウォール層間ふさぎ防火措置に関する実験的研究 (その2) 屋外火災及び屋内火災を対象として
	福田 尚美	大和 征良
	B-13 水膜設備を活用した密集市街地燃焼拡大防止対策に関する実験的研究	C-13 アルミ樹脂積層パネルの表面材剥落挙動
	丘 仁赫	田中 義起
休憩 12:40~13:30		

A会場 4号館 1階 113教室			1日目 5月16日(土曜日) 午後の部 (13時30分 ~ 18時15分)			B会場 4号館 1階 116教室			C会場 4号館 1階 117教室		
総会 13:30~14:30 場所: 中示範A教室(4号館1階)											
学会賞受賞者特別講演 14:35~15:15 場所: 中示範A教室(4号館1階)											
OS1-2 障がい者の避難安全 15:20~16:20 司会 宮坂智哉, 村田明子			BIV 消炎効果 15:20~16:50 司会 尾川義雄, 野秋政希			CIV 木構造 15:20~16:20 司会 原田和典, 山下平祐					
OS1-6 障がい者の避難能力を考慮した避難計画に関する研究(その1) 身体障がい者の避難能力に関する実態調査 神谷 美晴			B-14 プロパン-空気予混合火炎の燃焼速度と火炎温度に及ぼすウォーターミストの影響 大川 統一朗			C-14 被覆材の炭化速度/温度上昇抑制効果に関する検討 水上 点晴					
OS1-7 障がい者の避難能力を考慮した避難計画に関する研究(その2) 軽度知的障がい者の避難能力の実態調査 土屋 伸一			B-15 プロパン-空気予混合気の着火に及ぼすウォーターミストの影響 蝦名 航			C-15 中断面スギ集成材を用いた複合部材の火災時の炭化性状 鈴木 淳一					
OS1-8 障がい者の避難能力を考慮した避難計画に関する研究(その3) 障がい者を考慮した建築防災計画の検討 古川 容子			B-16 ウォーターミストによる対向流拡散火炎の消炎-ミスト粒径及び質量分率の影響- 橋爪 脩平			C-16 カラマツ集成材の高温強度に及ぼす水分蒸発の影響その1 引張強度 松本 匠					
A II 避難 I 16:25~17:10 司会 土屋伸一, 古川容子			B-17 加熱平板に付着する固体微粒子が消火に及ぼす影響 廣田 光智			C-17 カラマツ集成材の高温強度に及ぼす水分蒸発の影響その2 圧縮強度 片倉 佑介					
A-07 廊下の滞留を考慮した避難完了時間の簡易予測計算法 山口 純一			B-18 不活性ガスを充填したシャボン玉の輸送速度とその消炎効果 成ヶ澤 伶			OS2 原子力発電所における火災安全 16:25~18:05 司会 辻本 誠, 中村祐二					
A-08 廊下における滞留を考慮した避難行動予測モデルの構築(その1) モデルの概要 田村 祐介			B-19 泥炭火災の燃焼過程と消火条件の検討 上江洲 一也			OS2-1 原子力発電所の火災防護に関する規制の変遷と現状-米国を対象として- 長岐 雅博					
A-09 廊下における滞留を考慮した避難行動予測モデルの構築(その2)-実験とマルチエージェントモデルとの比較- 城 明秀			B V 燃焼性状 I 16:55~18:10 司会 鈴木正太郎, 上江洲 一也			OS2-2 米国原子力発電所における火災防護の法規制の変遷 大嶋 規代					
A III ガス・毒性 17:15~18:15 司会 山口純一, 城 明秀			B-20 模型箱試験区画内におけるウレタンマットの燃焼性状 李 ソンチャン			OS2-3 TIMEから読み取る原発に対する意識の変遷 井町 遼					
A-10 住宅における布団のくん焼火災による人命危険性評価(その1) 長谷川 佳苗			B-21 水面に浮遊した液体燃料の燃え拡がり 桑名 伸吾			OS2-4 原子力発電所の火災事例とその分析-高エネルギーアーク故障を対象として- 田坂 光司					
A-11 住宅における布団のくん焼火災による人命危険性評価(その2) 大井川 岳			B-22 海上に流出した油の着火性についての研究 崎山 剛典			OS2-5 原子力発電所の内部火災PRAについて 角谷 核二郎					
A-12 火災時の燃焼条件に応じた生成ガスの有害性に関する研究-ガス有害性試験における生成ガスのFTIR分析- 趙 玄素			B-23 コーンカロリメータを利用した火炎伝播速度の測定方法に関する研究 池 正熏								
A-13 太陽電池モジュール燃焼時の生成ガスについて(第2報) 塚目 孝裕			B-24 コーンカロリメータによるカラマツ集成材の炭化層燃焼失速の測定 茶谷 友希子								
学会賞・学生奨励賞表彰式 18:30~18:45 場所: 懇親会会場(上杉城史苑 1階レストラン アビシス)											

2日目 5月17日(日曜日) 午前の部(9時15分～12時40分)

A会場 4号館 1階 113教室		B会場 4号館 1階 116教室		C会場 4号館 1階 117教室	
AIV 避難Ⅱ 9:15～10:15 司会 峯岸良和, 岸上昌史		BVI 燃焼性状Ⅱ 9:15～11:00 司会 八島正明, 花井佑一朗		CV コンクリート構造Ⅱ 9:15～10:15 司会 鈴木淳一, 山村太一	
A-14	誘導灯及び照明の有無が煙中の歩行速度に与える影響 藤井 皓介	B-25	スケールモデル実験によるごみ固形燃料貯蔵容器の火災事故の検証 小西 忠司	C-18	火災加熱を受けるコンクリートのひずみと応力に与える水分の影響 その1.概要・定常温度圧縮実験 山下 平祐
A-15	高層住宅におけるエレベータ避難に関する意識調査 吉野 摂津子	B-26	側方の燃え尽きを考慮したウレタンブロックの燃焼予測 井戸 和彦	C-19	火災加熱を受けるコンクリートのひずみと応力に与える水分の影響 その2.重量減少測定実験 吉田 徹
A-16	高層事務所ビルの全館避難訓練時における階段歩行に関する実測調査とその分析 その14-順次避難における階段室内の滞留発生に関する分析 門倉 博之	B-27	ベッドマットレスの燃焼性状に関する研究 その1 実験方法と結果 丁 鐘珍	C-20	火災加熱を受けるコンクリートのひずみと応力に与える水分の影響 その3.全体ひずみ実験・変位拘束実験 宍倉 大樹
A-17	事務所ビルの防火上の既存不適格事項に関する実態調査 鍵屋 浩司	B-28	ベッドマットレスの燃焼性状に関する研究 その2 結果および考察 水野 雅之	C-21	剛飛翔体の高速衝突を受けたコンクリート板の火災加熱に対する温度性状 森田 武
AV 避難Ⅲ 10:20～11:35 司会 秋月有紀, 藤井皓介		B-29 鉄道車両座席の燃焼性状 清水 晃平		CVI 可燃物・着火物 10:20～11:20 司会 鈴木佐夜香, 宍倉大樹	
A-18	トンネル火災のシミュレーションと避難安全評価 山本 和弘	B-30	道管構造を模擬した貫通孔を有する人工木材の燃焼挙動 鈴木 正太郎	C-22	3Dスキャナを用いた可燃物調査 新谷 祐介
A-19	道路トンネル内火災時の避難速度に関する実験 石村 利明	B-31	漏えいガス爆発による火災発生に関する研究 今井 捷太郎	C-23	小規模社会福祉施設における可燃物量の实態調査 山村 太一
A-20	Phenomenon of Residents' Evacuation When the Kaohsiung Gas Explosion Occurred in Taiwan Shao, Chun-Hao	B VII 消火Ⅲ 11:05～12:35 司会 岩田雄策, 井戸和彦		C-24	RIPシガレットの着火性に関する実験的研究(その9) -布張り家具上におけるRIPシガレットの有効性検討- 宮郷 正平
A-21	延焼・避難広域シミュレーション大規模計算による災害時に発生し得る極端現象の解明とその対処の検討(その1)-都市の安全化方策検討の枠組み 加藤 孝明	B-32	石油タンク火災用の泡消火薬剤について(第15報) -フッ素フリー泡における泡供給率増加係数の検討- 内藤 浩由	C-25	RIPシガレットの着火性に関する実験的研究(その10) -布団の圧縮及び養生/実験室湿度がくん焼に及ぼす影響- 宇山 研
A-22	延焼・避難広域シミュレーション大規模計算による災害時に発生し得る極端現象の解明とその対処の検討(その2)-危険遭遇者の発生の特性分析 志村 泰知	B-33	石油タンク火災用の泡消火薬剤について(第16報) -燃焼規模が限界泡供給率に及ぼす影響について- 花井 佑一朗	CVII 火災調査Ⅰ 11:25～12:40 司会 篠原雅彦, 岩下友安	
AVI 区画火災 11:40～12:25 司会 鍵屋浩司, 門倉博之		B-34 フェロセン/水分散系の消火性能に及ぼすフェロセン粒径および分散剤の影響 小柴 佑介		C-26	におい識別装置による灯油成分の検出手法の開発 上矢 恭子
A-23	二層ゾーンモデルの安定化に関する研究 原田 和典	B-35	難燃ケーブルの過電流による発火と消火に関する研究 -ケーブルトレイを用いた消火試験- 赤津 薫	C-27	熱源の発見のための熱画像カメラの利用について -継手の接合部に熱源がある場合を想定した模擬実験- 鈴木 健
A-24	機械換気条件下における区画内火災性状の実験的解明 その2 区画内の温度および酸素濃度分布 沖永 誠治	B-36	韓国型ウォーターミスト作動時噴霧液滴特性に対する研究 Ung-Gi Yoon	C-28	岸壁に係留中の土運船内で発生した爆発火災 八島 正明
A-25	近接する2つの開口からの噴出火炎の合流に関する実験的研究 出口 嘉一	B-37	爆発物の威力軽減に関する研究 遠藤 辰基	C-29	石炭コンベヤベルトの着火・延焼性に関する試験 中田 雅之
				C-30	化学プロセス工業で発生した火災爆発災害の知識データベース 板垣 晴彦
休憩 12:40～13:30					

2日目 5月17日(日曜日) 午後の部 (13時30分 ~ 17時30分)		
A会場 4号館 1階 113教室	B会場 4号館 1階 116教室	C会場 4号館 1階 117教室
A VII 排煙・煙性状 13:30~14:45 司会 出口嘉一, 山本和弘	B VIII 広域火災Ⅱ 13:30~15:00 司会 山口純一, 佐々木克憲	C VIII 火災調査Ⅱ 13:30~14:45 司会 土橋 律, 木田勇次
A-26 天井チャンパー排煙における天井面開口率の影響のFDSによる考察 峯岸 良和	B-38 気仙沼沿岸地域の津波火災に関する水槽実験 増田 達男	C-31 太陽光発電システムから出火した住宅火災 田村 裕之
A-27 加圧防排煙における動圧方式に対応した常温時の性能確認手法に関する実験的研究 その1 静圧測定装置の検証 松山 賢	B-39 津波火災の発生件数の予測手法 その1 - 出火記録の信頼度不明を考慮した統計モデルの推定 - 西野 智研	C-32 絶縁材料の異なる電気ケーブルの短絡性状 岩下 友安
A-28 加圧防排煙における動圧方式に対応した常温確認時の性能確認手法に関する実験的研究 その2 実大模型を用いた常温給気実験 岸上 昌史	B-40 津波火災の発生件数の予測手法 その2 - 津波数値解析と連携した将来津波時の火災件数の予測 - 北後 明彦	C-33 直流環境下における亜酸化銅増殖現象の特異性 藤原 裕幸
A-29 模擬煙環境下におけるサブテラヘルツ波に関する研究 -サブテラヘルツ波の伝搬損失の理論的考察について- 内田 英建	B-41 消防力を考慮した地震火災による延焼被害量の算定 中野 裕光	C-34 絶縁材料に対する耐直流アーク着火性評価法 渡邊 光
A-30 煙粒子の衝突確率を考慮した煙層下の床面照度予測 秋月 有紀	B-42 延焼クラスタの設定手法の提案と東京都の延焼クラスタ 小林 純也	C-35 密閉式圧力容器試験を用いた電池の熱分解の危険性評価 岩田 雄策
A VIII 消防機器 14:50~16:05 司会 田村裕之, 加藤孝明	B-43 地震時における建物倒壊を考慮した道路通行可能性の検討 佐藤 高広	C IX 火災調査Ⅲ 14:50~15:35 司会 諏訪正廣, 錦 慎之助
A-31 粉末消火薬剤放射装置について 玉越 孝一	B IX 総合防災 15:05~16:50 司会 北後明彦, 沖永誠治	C-36 自動販売機の燃焼挙動 岡本 剛士
A-32 燃焼するマグネシウムに対する乾燥砂等の含水率による消火の影響 山越 靖之	B-44 地震時の住民による初期消火活動効果に関する検討 推名 知明	C-37 自動車火災における隣接自動車への延焼性 吉田 健次
A-33 マグネシウムの燃焼状態に及ぼす放水の影響 根本 昌平	B-45 木造密集市街地における自主防災組織の初期消火力の向上に関する研究(その1) -消火資機材の操作実測とアンケート調査の概要- 五十嵐 暢	C-38 燃焼自動車前方の住宅外壁への熱的影響 本間 正勝
A-34 高圧環境下での界面活性剤の泡に関する基本的性状 北川 泰久	B-46 木造密集市街地における自主防災組織の初期消火力の向上に関する研究(その2) -アンケート調査の結果- 小林 左門	C X 火災旋風 15:40~17:10 司会 尾川義雄, 本間正勝
A-35 円筒内における泡の簡易伝熱計算法 上脇 理嗣	B-47 防火意識調査の結果 無線連動式住宅用火災警報器による地域警報ネットワーク構築のモデル実験 その2 鈴木 恵子	C-39 火災旋風の旋回強度のPIV測定 大西 博之
A IX 火の粉・飛び火 16:10~17:10 司会 鈴木 健, 小林左門	B-48 木造密集地域における地域警戒ネットワークの検討 河関 大祐	C-40 火災旋風による気流のPIV解析 須崎 竜也
A-36 木造建築物燃焼時の火の粉飛散性状のモデル化 岩見 達也	B-49 歴史街区における防火安全と住民の防火意識について台南の神農街を事例として 邵 珮君	C-41 火災旋風時の燃焼挙動に関する研究 土橋 律
A-37 DEVELOPMENT OF REDUCED-SCALE EXPERIMENTAL FACILITY TO STUDY FIREBRAND IGNITION 鈴木 佐夜香	B-50 身近にある阪神・淡路大震災 新田 隆志	C-42 異なる風向・風速が建物近くの延焼に及ぼす影響 錦 慎之助
A-38 BUILDING COMPONENT IGNITION FROM MULCH BEDS IGNITED BY FIREBRAND SHOWERS Samuel L. Manzello		C-43 有風下での長方形火源の方向が火災風下に発生する火災旋風のふるまいに与える影響 篠原 雅彦
A-39 自由落下する木片の飛散距離と回転の効果 永野 紳一郎		C-44 外縁部へ均一着火させた回転する円盤状の紙の燃焼挙動 小林 耕起
閉会式 挨拶(学術委員会委員長) 17:20~17:30 場所:A会場(4号館 1階 113教室)		